



## 文教常任委員会での議案外質問！ アーバンスポーツの環境整備について

**Q** 東京オリンピックで日本人選手の活躍を受け、BMXやスケートボード、スポーツクライミングなどに代表される「アーバンスポーツ(都市型スポーツ)」の人気が高まっています。その一方で、練習場不足など環境面の問題も抱えています。今後のアーバンスポーツの環境整備についての考えを伺います。

**A** ソフト事業としましては、一般社団法人キメラユニオンと連携し、国内最大級のアーバンスポーツ競技大会「キメラ・エーサイド・ザ・ファイナル・2021」を11月にスーパーアリーナで開催する予定です。施設整備については、都市公園の一部や公共施設、民間施設など、管理面や市の負担面にも留意しながら現在検討しています。



### 新型コロナウイルス感染症への対応(9月定例会補正予算から)

#### 感染の再拡大に対応可能な検査・医療体制の整備

1. 新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査について検査体制を継続する
2. 新型コロナウイルスワクチンについて、2回目接種から8ヶ月以上経過した者に対し、追加接種を実施する

#### 市民生活の維持及び下支えのための対策

1. 離職等により経済的に困窮している方に対し、住居確保給付金を支給する
2. 就労を通じた自立を目指しているひとり親世帯に対して住宅費を支援する
3. 就労継続支援事業所で働く障害者の減少した工賃分を支援する
4. 外出が困難な障害者に対し、医療機関への適切な受診の促進を図るため、タクシー券の交付を行う
5. 中・高等学校の修学旅行の中止・延期により発生する経費について、保護者の経済的な負担をなくす

#### 事業継承・雇用維持のための事業支援、経済活動の回復に向けた消費喚起策

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している小規模企業者に対し、給付金を支給する
2. 飲食店や生活関連サービス等における消費を促すため、プレミアム付商品券を発行する
3. 消費活性化を図るため、キャッシュレス決済のポイント還元による消費活性化キャンペーンを行う



#### 鴻沼川緑道の整備について

新開通りから国道17号バイパス間の鴻沼川緑道(東側)は、桜田・新開地域の皆様が通勤・通学等で活用されていますが、未整備の状況です。地域住民からの整備要望を受け、今年度中に真砂土を用いた暫定的な整備を行います。

阪本かつみ オフィシャルウェブサイト  
<http://sakamoto-katsumi.net/>

阪本かつみ

検索



埼玉県さいたま市桜区町谷3丁目24-15  
TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023  
E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

編集・発行 / さいたま市議会議員 阪本かつみ

さいたま市議会議員 阪本かつみ ~市民に開かれた議会を目指して~

# 市政レポート 2021 9月定例会



議会での役職 民主改革さいたま市議団 団長 スポーツ振興議員連盟 会長  
文教常任委員会 委員  
大都市行財政将来ビジョン特別委員会 委員

さいたま市議会9月定例会は9月1日から10月15日までの45日間の日程で開催されました。9月定例会は令和2年度決算議案の審査がメインとなりますが、あわせて、新型コロナウイルス感染症への対応を図る補正予算の審査など活発に議論が交わされました。今回のレポートでは、9月定例会の内容を中心に報告いたします。

## 過去最大規模となる令和2年度決算を認定！

### 令和2年度決算の概要

#### 収支状況

(単位:百万円)

区分	令和2年度	令和元年度	増減額(率)
①予算現額	763,366	584,016	179,350(30.7%)
②歳入決算額	716,378	551,534	164,844(29.9%)
③歳出決算額	703,908	545,551	158,357(29%)
④差引額(②—③)	12,470	5,983	6,487(108.4%)
⑤翌年度へ繰り越すべき財源	4,680	4,234	446(10.5%)
⑥実質収支額(④—⑤)	7,790	1,749	6,041(345.5%)

#### 歳入

・地方消費税交付金は、消費税税率引き上げ等による地方消費税収入額の増加により46億20百万円(21%)の増  
・国庫支出金は、特別定額給付金事業補助金の増、新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の増、教育・保育給付費負担金の増等により1540億82百万円(160.8%)の増

#### 歳出

・民生費は、特定教育・保育施設等整備、運営事業の増、子育て世帯への臨時特別給付金事業の増等により120億14百万円(6%)の増  
・商工費は、特別定額給付金事業の増、中小企業資金融資事業・支援事業の増等により1500億66百万円(672.3%)の増

### 決算審査を終えて

令和2年度の決算規模は本市誕生以来最大であり、実質収支も黒字を維持しています。しかしながら、本市は既に超高齢社会を迎えており、今後、さらに高齢化の進行により扶助費などが増加し、また、老朽化した公共施設の改修経費も増加が見込まれます。さらに、新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、今後の感染状況・経済状況等は不透明です。このことから、今後、真に必要な市民サービスへの財源を重点的に配分するなど施策・事業の選択と集中を行う必要があると考えます。



# 決算委員会での質疑



## Q. 油面排水機場整備の効果について伺う

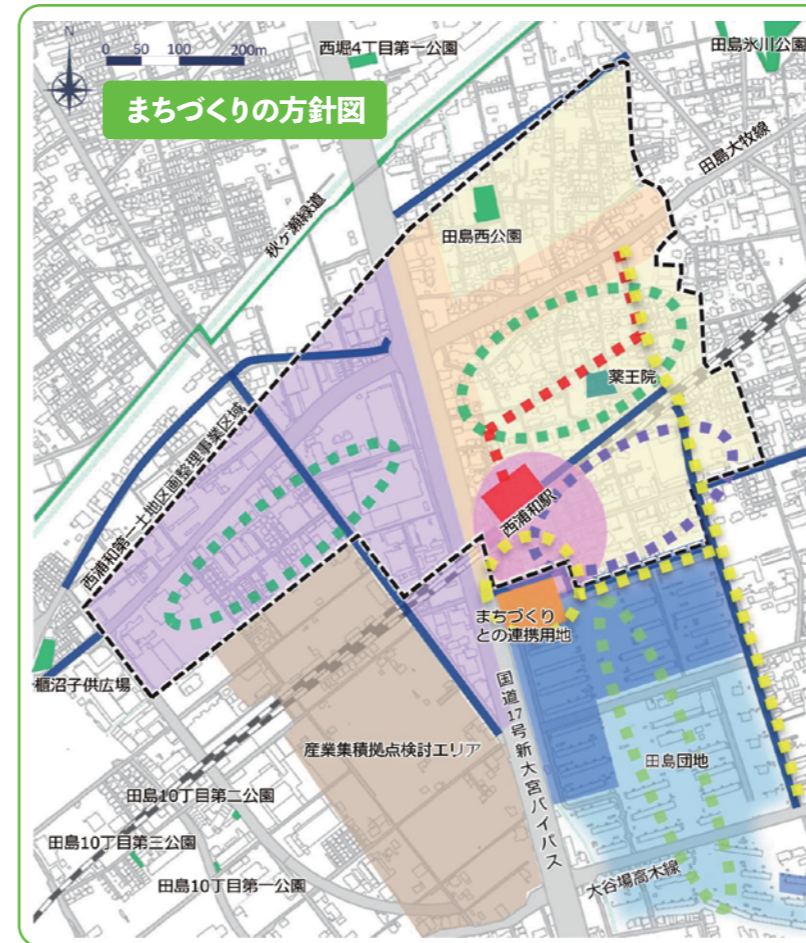
令和元年台風第19号時の浸水状況から床下浸水81%、床上浸水97%程度の被害軽減が図れると考えています。今後は、短期的・長期的なハード対策、水位情報システムの拡充を検討してまいります。

【図参照】

## Q. 西浦和駅周辺のまちづくり方針案が示されたが、今後のスケジュールについて伺う

今後、地域住民との意見交換会等を実施し、まちづくり方針を決定してまいります。その後、駅前広場及び候補路線、住民と協働のまちづくり手法、URとの連携事業等の検討を進めてまいります。

【図参照】



土地利用	エリア (凡例)
住環境形成エリア	
沿道市街地エリア	
工場と住宅共生エリア	
西浦和駅前直近エリア	
商店街沿道エリア	
まちづくりとの連携用地	
田島団地の団地再生事業エリア	
産業集積拠点検討エリア	

公園・緑	エリア (凡例)
公園配置検討エリア	
街区公園・緑道	
田島団地内の広場・緑地	

